

## 『口頭発表』及び『ポスター発表』執筆要領

- 「口頭発表」及び「ポスター発表」として発表される論文は、『秋期研究大会発表集録』に掲載されます。
- 原稿締切り 2020 年 9 月 24 日 (木) ※締切りの日時を過ぎた原稿は受け付けできませんので、ご注意ください。
  - ※オンライン投稿で、著者名入りの WORD ファイルと著者名無しの PDF ファイルを提出して頂きます。詳細は下記に従ってください。
- ページ数 「口頭発表」 …… A4 で 4 頁  
「ポスター発表」 …… A4 で 1 頁
- 投稿資格について：
  - ・ 投稿原稿の著者（連名の場合は筆頭著者）は、日本数学教育学会の個人会員とする。
  - ・ 筆頭著者としての発表は、論究部会の決定により、論文発表、口頭発表、ポスター発表を通して 1 件のみとする。

### I 執筆要領

1. **原稿の書式** 必ずホームページ掲載のテンプレートをダウンロードして使用すること。 原稿は A4 判の縦置き横書きとし、22 字（字送り 10.35p）42 行（字送り 16.8p）の 2 段組で作成する。別紙の口頭発表様式またはポスター発表様式、論文執筆における引用・参考文献の記載方法、サンプル様式を参照して執筆すること。
2. 本文のフォントは、MS 明朝体 10.5 ポイント、見出しは MS ゴシック体 10.5 ポイントとする。句読点は「、」と「。」を用いる。英字については Times New Roman を使う。余白の長さは、上 30mm、下 18mm、左右 20mm とする。書式を逸脱した原稿は掲載できなくなるので、注意すること。
3. **標題の字数と書式** 標題は 40 字以内とする。副題がある場合、副題は 30 字以内とする。また、標題は MS ゴシック体 18 ポイント、副題は 14 ポイントとする。
4. **文体** 日本語の文体は「である」調とし、常用漢字並びに現代かなづかいを用いること。
5. **見出し番号の付け方** 章、節、項、等は番号と標題をつけ、系統だてて配列する。見出しの番号は、次の順とする。  
章の見出し番号 1, 2, ..., 節の見出し番号(1), (2), ..., 項の見出し番号①, ②, ...
6. **表・図の番号** 表・図の番号は、それぞれ、表 1, 表 2, ..., 図 1, 図 2, ... のように通し番号をつけ、表や図の標題とともに入れる。表の通し番号と標題は表の上側に、図の通し番号

と標題は図の下側に書くものとする。

7. **引用・参考の仕方** 文章を引用する場合には、引用部分を括弧「」で囲んで引用の部分が分かるようにし、そのあとに、括弧（）を用いて著者と発行年と引用ページを入れる。引用ではなく参考の場合には、参考部分の後に、括弧（）を用いて著者と発行年を入れる。  
例：[引用]「...である」（川田，1999，p.4）。[参考]...であった（山田，2000）。
8. **引用・参考文献及び注の記載形式** 引用・参考文献は論文の末尾にまとめる。引用・参考文献や注のフォントを小さくしたり行間を詰めたりすることは認められない。  
個々の具体的な書式については、「論文執筆における引用・参考文献の記載方法」を参考にすること。
9. **引用・参考文献の記載順序** 著者の姓の英文表記に基づいてアルファベット順とする。
10. **表・図等の扱い** 冊子体（別注）作成において、86%に縮小するので、縮小した後でも十分読める大きさを確保する。また、論文データをつなげて発表集録を作成する際、書式が崩れる可能性があるため、フォントサイズ等、変更しないで下さい。表・図が2段組の一方の段に収まらない場合は、2段分使用すること。
11. **英文での原稿執筆** 以下の3点に留意の上、執筆する。
  - ① 日本語バージョンの執筆要領を原則とする。なお、本文の基本フォントは Times New Roman の 10.5 ポイントとする。
  - ② 2段組は行わず、執筆する。なお、余白等は日本語バージョンに従う。また、1頁の行数は日本語バージョンと同様に 42 行とする。
  - ③ 要約は、日本語バージョンに従って、その部分を日本語で作成する。
11. **ページ番号** 原稿にはページ番号を付さないこと。
12. **審査** 論究部が審査する。

※ 書式の改変は一切認められない。上記 1～12 の要領に従っていない場合は、その時点で「不採択」と判定される場合があるので注意すること。

## II 提出方法

### 1. 提出方法

口頭発表またはポスター発表のテンプレートを利用して「著者名入りの WORD ファイル」「著者名入りの PDF ファイル」「著者名無しの PDF ファイル」を各 1 つ、合計 3 つのファイルを作成し、大会 Web ページよりオンライン投稿により提出する。

### 2. 論文原稿ファイル名

ファイル名は以下の通りとする。

<口頭発表の場合>

著者名入りの WORD ファイル：0\_名前.doc（または docx）（例：0\_数学太郎.docx）

著者名入りの PDF ファイル：0\_名前（有）.pdf（例：0\_数学太郎（有）.pdf）

著者名無しの PDF ファイル：0\_名前（無）.pdf（例：0\_数学太郎（無）.pdf）

<ポスター発表の場合>

著者名入りのWORD ファイル：P\_名前.doc（または docx）（例：P\_数学太郎.docx）

著者名入りのPDF ファイル：P\_名前（有）.pdf（例：P\_数学太郎（有）.pdf）

著者名無しのPDF ファイル：P\_名前（無）.pdf（例：P\_数学太郎（無）.pdf）

※ 分科会の希望については、既に発表申込み時にお願いしていますが、変更がある場合は、投稿時に希望分科会を入力して下さい。

<分科会>

1. 数学教育学論，研究方法論
2. 教育課程（目標，評価）
3. 問題解決（数学的な考え方，指導法）
4. 教授・学習過程
5. 数学的モデル化
6. 数と計算・代数
7. 図形・幾何，測定
8. 関数
9. 確率・統計
10. 言語とコミュニケーション
11. 証明（説明，論証を含む）
12. テクノロジー
13. 数学教育史，数学史の教育活用
14. 教師教育
15. 国際協力
16. その他

3. **問合せ先** Eメールによる問合せは，次の事務局宛にお願いします。

日本数学教育学会第53回秋期研究大会実行委員会事務局宛  
jsmeautumn53@sme.or.jp